関東

それは2年前、WHOのテドロ 関東の同好会は 松本 知直(MRO)

められた。 増え、政府、自治体から特に高 齢者は要注意と、行動自粛が求 と月日の経過とともに感染者が スによる感染がパンデミックにな ス事務局長の「新型コロナ・ウイル った」という発言から始まった。 第1波、第2波、3、4、5波

 \mathcal{O}

込まれた。 好会活動も、特に3密はダメと 言われ、ほとんどが休止に追い 必然的にわが民放クラブの同

えているので、参加者募集の同 界。2回目のワクチン接種も終 峠を越したあたりから我慢も限 なくなったお座敷遊び 志満金(しまきん)で鰻会席を食 力を得て開催。神楽坂の老舗・ 好会を再開することにした。 「グルメの会」を、「女子会」の協 2年の歳月が経ち、 その第一弾が昨年12月15 今やほとんど見られ 第5波が 月。

> もち』を鑑賞した。参加者は 23

実施、 年は"小石川七福神巡り』例の正月七福神巡りを催行。 中止 地下鉄・茗荷谷(みょうがだに 年が明け |だった「路上観察クラブ」恒 21 名が参加した。 た1月5日、 昨

時間、最後は東京ドームに鎮座 駅に集合、深光寺(じんこうじ) に仲間との散策となった。 している福禄寿まで、 恵比寿さんから歩くこと約2 さ~、これからだと思った瞬 今度は新型のオミクロン株が 久し振り

間、 なくてはならない。 いう間に東京では1日あたり2 猛威を振るい、あれよあれよと 生する事態になり、またもや同 万人を超える新規感染者が発 会は自粛、休止へと舵を切ら

きなくてお手上げの状態とのこ 問い合わせても、全く活動がで 続くことになりそうだ。 新潟、静岡、長野の各支部に またしばらく我慢の日々が



幹事挨拶と、今日の行程説明 さぁ出発!

悠玄亭玉八師匠を囲んで

関東のみなっず全国で、司仔小西 隆昭(IBC)小西 隆昭(IBC)~麻雀同好会こぼれ話~101十禍、運(ツキ)を求めて

弄され、休眠状態が続いている。会活動はここ2年間、コロナに翻関東のみならず全国で、同好

「北(きた)」の準備とこまめな換けと感染対策、それに麻雀店開催を続けてきた。メンバーの予開催を続けてきた。メンバーの予のである。

して使われており、ピーク時は7によると、「北」は20年間会場とで、関東の同好主人、伊藤さんで、関東の同好会のなかで最も当同好会の歴史は30年以上

過ごしている。

気のおかげで、ここまでは元気に

15年前。例会終了後、メンツをり、月イチの例会になったのはが半年に1回、2か月に1回になこと。スタート時は年1回、それこと。スタート時は年1回、それ卓 28 人もの参加者があったとの

流は深く濃いものであったらしい。たり、居酒屋に変身したり、交再編成し、終電まで戦いを続け

めて」頭の体操をしている昨今で

時半スタート、会費は5、000現在の例会は第3土曜日 12

幹事はどの例会も大変だが、て静かに楽しんでいる。の人に渡るように特別賞を設け若干の賞品は下位に厚く、多く円で1、300円程度の参加賞と

麻雀の場合4人1組がマストだ。 家とホッとしている幹事の浅妻 るとホッとしている幹事の浅妻 さんの姿が印象的だった。 さんの姿が印象的だった。 とともにルールを忘れる人、会 とともにルールを忘れる人、会 とともにルールを忘れる人、会 とともにルールを忘れる人、会 以んでくれだり、CXの多田さん が女性雀士を仲間にしてくれた

しつかりしながら「運(ツキ)を求くらいで、例会を開いているかもくらいで、例会を開いているかもしれない。 何はともあれ、総うつ病状況の日本列島、誰かが言っていたの日本列島、誰かが言っているかもしれない。